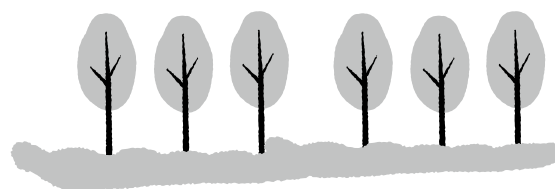




沿革





甲寿園の沿革

昭36年	(1961)	10月23日	社会福祉法人武庫川児童園設立
昭38年	(1963)	2月	総合社会福祉センター建設計画のため甲山国有林の払い下げを申請(約2万2千坪)
昭41年	(1966)	11月	法人名を「社会福祉法人仁明会」に変更
昭44年	(1969)	8月1日	仮称を『かぶとやま寿楽園』として特養建設工事着工
昭45年	(1970)	4月1日	特別養護老人ホーム「甲寿園」(定員80名)開園 初代園長に吉富長輔氏就任
昭45年	(1970)	8月1日	20名増床のため追加工事に着手
昭45年	(1970)	12月16日	追加工事竣工 定員100名に変更
昭47年	(1972)	3月31日	寮母、看護婦宿舍増築
昭47年	(1972)	6月1日	2代園長に広川義憲氏就任
昭47年	(1972)	9月30日	3代園長に石田英治氏就任
昭48年	(1973)	6月	「社会福祉法人仁明会」を「社会福祉法人甲山福祉センター」に名称変更
昭48年	(1973)	9月1日	4代園長に夷谷定能氏就任
昭49年	(1974)	4月4日	甲山森林火災により利用者全員管理棟と北山学園に避難
昭49年	(1974)	9月1日	5代園長に小松幸一氏就任
昭50年	(1975)	12月1日	重油流出事故起きる(総動員で排水路、河川の拭取り掃除)
昭55年	(1980)	8月1日	6代園長に藤沢貞夫氏就任
昭57年	(1982)	1月22日	浴室改修工事完成
昭57年	(1982)	3月31日	職員寄宿舎改築工事完成
昭57年	(1982)	6月3日	吉富理事長逝去 藤沢貞夫園長理事長代行(6月30日まで)
昭57年	(1982)	7月1日	山内敏弘氏理事長に就任
昭57年	(1982)	11月11日	甲山福祉センター後援会発足(会長に佐藤脩氏)
昭59年	(1984)	3月30日	1階食堂拡張工事完成
昭60年	(1985)	1月1日	7代園長に土井三郎氏就任
昭60年	(1985)	10月28日	重度痴呆性老人短期介護棟増設(定員4名)
昭62年	(1987)	1月1日	デイサービスセンター・特養50床増床計画発表
昭62年	(1987)	4月1日	8代園長に皿海碩氏就任
昭63年	(1988)	11月22日	ベランダ拡張工事・スプリンクラー設置工事竣工式
平元年	(1989)	1月22日	第一回介護福祉士国家試験実施(甲寿園4名合格)
平元年	(1989)	3月1日	居室にナースコール設置
平元年	(1989)	4月17日	園庭に東屋完成
平元年	(1989)	6月2日	浄化槽竣工
平2年	(1990)	4月1日	9代園長に内田和良氏就任
平2年	(1990)	12月	北館建築着工(特養50、ショートステイ20 デイサービス15名)
平4年	(1992)	3月23日	デイサービス(B型)開始、在宅介護支援センター開設
平4年	(1992)	4月1日	増床 定員150名に変更 ショートステイ24名
平6年	(1994)	3月1日	ホームヘルプサービス事業開始
平6年	(1994)	4月1日	10代園長に新在家孝男氏就任
平7年	(1995)	1月17日	早朝5時46分兵庫県南部地震発生(震度6)、ご利用者への被害無し。敷地、建物の被害甚大。 在宅の高齢者が救出され緊急入所多数、全国各地より救援物資が届く。全国老施連より応援の介護、看護職員派遣、多数のボランティア来園。ショート特例枠36床にて高齢被災者の受け入れ。

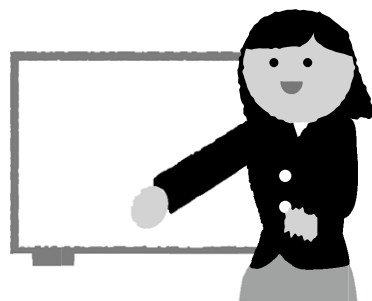
平 7 年	(1995)	6 月 1 日	被災高齢者のためのケア付仮設住宅を委託され運営 (グループホームケア事業) 設定基準Ⅱ類型 3 棟 69 戸・Ⅰ類型 1 棟 23 戸 {甲寿園 松生町 (Ⅰ類型)、羽衣町、砂子療育園 東町、上田東町}
平 8 年	(1996)	3 月 31 日	北館 2 階ショートステイフロアにデイルーム完成
平10年	(1998)	3 月 31 日	南館 2 階改修工事終了 (中央競馬馬主財団より助成)
平10年	(1998)	4 月 1 日	11 代園長に八田優希氏就任
平10年	(1998)	3 月 31 日	ケア付仮設住宅閉鎖
平10年	(1998)	9 月 27 日	第 1 回介護支援専門員研修受講試験実施される (6 名合格)
平11年	(1999)	3 月 31 日	南館 1 回改修工事終了 (甲山福祉センター後援会助成)
平11年	(1999)	3 月 18 日	隣接地に特養「にしのみや苑」開設初代苑長に八田優希氏就任
平11年	(1999)	4 月 1 日	12 代園長に松岡信哉氏就任
平11年	(1999)	8 月 20 日	南館の改修工事の国庫補助協議書提出
平12年	(2000)	4 月 1 日	介護保険制度始まる。居宅介護支援事業開始
平12年	(2000)	5 月 1 日	法人第 1 回ホームヘルパー養成講座開講 (甲寿園担当)
平12年	(2000)	5 月 30 日	民間老朽化施設改築補助承認の内示を受ける
平12年	(2000)	9 月 30 日	南館改築工事着工 (設計・監理 (株) 都市設計、施工 新井組)
平12年	(2000)	12 月 19 日	南館寮母室、一部居室の仮設建物完成、南館一部解体開始
平13年	(2001)	4 月 1 日	定員 160 名に変更 ショートステイ 14 床に変更
平13年	(2001)	11 月 22 日	法人 40 周年記念、甲寿園南館竣工記念式典・祝賀会挙行
平13年	(2001)	11 月 26 日	新南館の仮使用開始 (利用者引越し)
平13年	(2001)	12 月	園庭地下を横断している市の排水路 (直径 150cm) 兵庫県南部地震によるものと思われる断裂 が発見され、竣工が約 3 ヶ月遅れることが確実となる。
平14年	(2002)	2 月 1 日	デイサービス、マイクロバス納車 (中央競馬馬主財団より助成)
平14年	(2002)	3 月 24 日	南館改築工事竣工記念「甲寿園祭」実施
平14年	(2002)	7 月 31 日	南館改築整備事業終了
平16年	(2004)	4 月 12 日	南館増築、北館改修工事着工 (北館 2 階、3 階の各居室に便所の設置、食堂を北館 3 階に新設、 各階にデイルームの設置、デイサービスを南館 1 階に移転等) 定員を北館 3 階 46 名から 39 名に、 北館 2 階 24 名から 31 名に変更
平16年	(2004)	11 月 1 日	南館増築、北館改修工事竣工式
平18年	(2006)	3 月 31 日	甲寿園在宅介護支援センター廃止
平18年	(2006)	4 月 1 日	甲寿園地域包括支援センター開設
平18年	(2006)	11 月 1 日	公共下水道供用開始、浄化槽廃棄
平18年	(2006)	11 月	デイサービスセンター定員 20 名から 25 名に増員
平19年	(2007)	4 月 1 日	日本財団助成、マツダ MPV7 人乗り乗用車 (デイサービス送迎車)
平19年	(2007)	4 月 1 日	甲山地域包括支援センターに名称変更
平20年	(2008)	4 月 1 日	13 代園長に狭間孝就任
平21年	(2009)	7 月 1 日	介護労働者 助成金 天井走行リフト 13 台増設工事着工
平21年	(2009)	8 月 1 日	天井走行リフト工事完成。利用者の 60% がリフト使用可能となる。
平21年	(2009)	9 月 1 日	北館給湯機器改修工事 (A 重油のボイラー廃棄し、都市ガス使用給湯器機設置) 北館空調機器設備改修工事 (居室毎に温度設定が可能となる) 南館給湯機器、空調機器の熱源を A 重油から都市ガスに転換工事
平21年	(2009)	12 月 1 日	9 月 1 日から始まった工事、全て完了
平22年	(2010)	4 月 1 日	甲寿園創立 40 周年を迎える。
平22年	(2010)	7 月 28 日	北館厨房改修工事着工 (南館 1 階、新事務室等改修開始)
平22年	(2010)	12 月 21 日	新厨房稼働
平23年	(2011)	1 月 12 日	新春のつどい

平23年	(2011)	1月15日	創立40周年記念市民ボランティア感謝の集い
平23年	(2011)	11月1日	北館2階増床及び改修工事着工
平24年	(2012)	4月	北館増床工事終了 北館2階定員17名から25名に増員 特別養護老人ホーム甲寿園168名に変更
平24年	(2012)	8月	甲寿園訪問介護事業所・甲山地域包括支援センター・甲寿園居宅介護支援事業所の一部総合相談 支援センターに移転
平25年	(2013)	2月	北館3階食堂及び配膳室改修工事着工
平25年	(2013)	3月	北館3階食堂及び配膳室改修工事終了
平25年	(2013)	5月17日	地域交流 春フェスタ開催
平25年	(2013)	9月	デイサービス 特殊浴槽購入設置及び床面工事
平26年	(2014)	7月	北側落石防護柵設置工事
平26年	(2014)	9月	北館3階トイレ及びデイルーム改修工事着工
平27年	(2015)	1月	北館3階トイレ及びデイルーム改修工事終了
平27年	(2015)	8月	南館1階他改修工事着工（デイサービス改修・医務室改修・わいわい広場・アクティブルーム）
平27年	(2015)	9月	南館2階居室空調設備改修工事
平27年	(2015)	12月	南館1階他改修工事終了
平27年	(2015)	12月21日	天皇陛下御下賜金 伝達式
平28年	(2016)	5月	南館3階居室空調設備改修工事
平28年	(2016)	5月	北館ベットライト工事
平28年	(2016)	11月	南館空調熱源吸収冷温水機保全工事
平28年	(2016)	12月	北館2階特殊浴槽購入設置
平29年	(2017)	3月	故山内敏弘名誉会長ご寄附によるグランドピアノ購入
平29年	(2017)	4月	14代園長に中野由理就任
平29年	(2017)	4月	居宅介護支援事業所（3人体制）
平29年	(2017)	6月	甲寿園電話設備更新
平29年	(2017)	8月	甲寿園誘導灯更新
平29年	(2017)	10月	北館3階浴室床改修工事及び北3特殊浴槽購入設置
平29年	(2017)	12月	甲寿園全館非常放送設備更新
平30年	(2018)	4月	デイサービス定員28名から30名へ変更
平30年	(2018)	8月	台風20号の大雨被害を受ける（軽車両3台水没）
平30年	(2018)	10月	南館2・3階特殊浴槽購入設置及び南2へ座位浴移設
平30年	(2018)	10月	西宮市総合防災訓練「福祉避難所」開設訓練を行う（にしのみや苑合同）
平31年	(2019)	1月	利用者用業務用洗濯機1台リース契約

平成30年度



実践研究発表





園内実践研究発表会

平成 30 年 10 月 3 日 (水)

時 間：14:00～14:30

場 所：甲寿園 会議室

プログラム

- ① 「ふるさと交流会」 P.77
～思い出や気持ちの変化～
発表者：北館 2 階 伊澤 雅記
- ② 「足浴で快適な入浴を」 P.78
発表者：南館 2 階 松本 知子
- ③ 「クッキングを通しての関わり」 P.79
発表者：北館 3 階 原田 正
- ④ 「不眠 B y e B y e」 P.80
発表者：南館 3 階 松村 美香

「ふるさと交流会」

～思い出や気持ちの変化～

北館 2 階 援助員：伊澤 雅記 / 多胡 亜季 / 佐藤 歩

〈キーワード 3 つ〉

交流会

回想療法

記憶

【はじめに】

このふるさと交流会は、園では「県人会」として親しまれ、企画を始めて 7 年になる。全フロア対象に同郷の方を集め、故郷の写真や動画をプロジェクターに映し、思い出を語ったり、故郷のお菓子を召し上がりながら交流する企画となっている。今回は 2 回以上参加している二人の入居者を対象に記憶や感情にどう影響したのか、事例を通して振り返った。

【とりくみ内容と対象】

＜対象＞

・T さん 女性 認知症軽度（物忘れ程度） 鹿児島県人会参加。

同施設に姉が入居されており、県人会にはお二人で参加。

・I さん 女性 認知症あり 広島県人会参加。

以前参加された時に比べ認知症が進行している。

＜とりくみ内容＞

上記二人を対象にして、今県人会への参加の前・中・後の様子や以前参加したときの様子を観察し、残った印象や覚えている期間を比較し考察した。また職員対象にアンケートを取り、県人会の今後の課題などを振り返った。

【結果】

T さんは今までの県人会もすべて覚えておられた。前回は一緒に参加できなかった姉と参加したことで思い出話が盛り上がり、鹿児島の民謡を踊ってくださるなど楽しんでいた。

I さんは認知症により前回も今回も一週間程度で忘れていた。会の前はぼんやりだった記憶が、会の間は写真を見ると場所をすぐに言い当て積極的に話をされていた。会の後は、前回は広島出身であることを強く主張していたが、今回は広島より長く住んでいた神戸の話を何度も言われていた。

【考察とまとめ】

今回は県人会を 2 回以上参加し、故郷の映像や交流によって、うっすらとしていた記憶が、楽しかった思い出として自然に思い出せるようになっていた。

故郷の話を分かり合える人たちとの交流はリラックスできる環境を作れたのではないかな。

今後の課題として家族支援も得ながら利用者さんも家族さんも含めより良い交流の場として続けていきたい。



「足浴で快適な睡眠を」

南館2階 援助員：嶋田 源 / 松本 知子 / 板倉 誠也

〈キーワード3つ〉

足浴

安眠

生活リズム

【はじめに】

眠りが浅く昼夜逆転傾向のある利用者に対して、週2回の入浴以外に足浴で足を温める事により、血流改善や、副交感神経を優位に働かせリラックス効果による睡眠改善ができるのではないかと期待を持って取り組みを行いました。

【とりくみ内容と対象】

平成30年3月30日にご入居された M さんを対象に足浴をさせていただきました。夜間眠りが浅く寝入るのが遅くなることがあります。早く就寝されても午前1～3時ごろに目が覚めてそのまま寝つけずにずっと起きてしまうことが多い方です。杖を使用して自立歩行をされていますが、夜間の睡眠時間が足りないと思われる時にその次の日の日中、眠気からふらつきが時々みられます。昼夜逆転を改善し、転倒のリスクを減らしたいと思いMさんを対象者に選ばせていただきました。

【結果と考察】

足浴をしていない1週間と足浴をした1週間を比較すると、1週間というくりでは全体的な睡眠時間では大きな違いはみられませんでした。特に足浴中の最初の3日ほどは身体が慣れておられなかったからか、明らかに不眠なご様子でした。しかし週の後半では足浴をする習慣に身体が順応してきたのかよく安眠されるようになったのではないかと考えられます。今後も続けていけばよりよい睡眠を得ることができるのではないかと思います。

【まとめ】

今回は足浴を行うことで安眠をしていただけたかどうかを調査しましたが、それ以外にも白癬菌をはじめとする感染予防や血行が良くなることで末端のむくみ改善にも効果があるといわれています。今後はそういった別の観点からも足浴を有効活用していければ良いと思います。



「クッキングを通しての関わり」

北館3階 援助員：原田 正 / 田中 安奈 管理栄養士：弘内 優帆

〈キーワード3つ〉

料理活動

その人らしさ

新たな一面

【はじめに】

甲寿園では昨年より料理療法を基にしたクッキングを毎月行っている。長年家庭で慣れ親しんだ料理という行為を通して利用者様とより深く関わり、その人らしさを知ることを目的として取り組み始めたが、参加された利用者様の新たな一面を見ることができ、職員も驚きつつ、全員で和気あいあいとした雰囲気で行っている。

【とりくみ内容と対象】

今回は参加されていた利用者様の中からお一人を選び、対象とした。

S 様 75歳 要介護度3 既往歴：認知症、うつ病、甲状腺機能低下症 専業主婦をされていた

食事形態：粥＋キザミA食 性格：温厚で大人しく遠慮がちな性格。ご自身からの発言は少ない。

普段の様子：配膳してもなかなか食べ始めようとはされず。おやつ時も同様。出された食事は体調不良がない限り基本、全量召し上がられる。特に好き嫌いはない。ネガティブな発言があるわけではないが表情は暗め。

〈とりくみ内容〉

対象のS様に平成30年3月から8月まで毎月、クッキングに参加していただき、クッキング中や日常生活での様子を観察した。

【結果】

昔はよく料理をされていたということもあり、クッキングには意欲的に参加されていた。また家族様もS様の為に料理本や自宅で使われてた割烹着を持ってきてくださる等協力的であった。クッキングの回数を重ねるごとに食事を介しての会話が向上し、また、活動中の笑顔も多く見られるようになった。クッキングで作られた料理はすぐに手を付けられていた。クッキングの反省会では回を重ねるごとにご自身への手厳しい発言をされていた。クッキングに参加するようになり、フロアでのラジオ体操やレクリエーション等にも参加され体を動かされるようになった。

【考察とまとめ】

今回の取り組みを通して、S様の新たな一面を見ることができた。ご自分への手厳しい発言や普段から料理本を読まれていたということから、向上心が高い方なのではないかと考える。また、フロアでも意欲的な様子が見られ、精神面での向上も見られたのではないかと考える。長年家庭で慣れ親しんだ料理という行為を通して普段の生活では見ることのできないその人らしさを知ることができた。今後も継続してクッキングを行い、さらに多くの利用者様と関わっていき、クッキングが利用者様の生活の中での楽しみの一つになればと思う。



「不眠B y e B y e」

～薬に頼らず心地よい眠りを～

南館3階 援助員：松村 美香 / 日笠 君彦 / 石川 幸男

〈キーワード3つ〉

良眠

音楽

昼夜逆転

【はじめに】

入所時より夜間不眠の為睡眠導入剤を服用されていましたが、入眠はほぼ毎日とても遅い時間（日付が変わる場合が多くありました）であり、睡眠時間も5～6時間内、午前を中心とした日中時間は傾眠傾向でした。睡眠導入剤の服用時間や薬の変更を考えましたが、まずは日々の生活の中で何か工夫をすることにより良眠が出来る様になればと今回の取り組みを行いました。

【とりくみ内容と対象】

- ・対象 （利用者）K氏 女性 80歳 平成30年4月入所 要介護4
（既往歴）レビー小体型認知症 胸椎圧迫骨折 高血圧症 誤嚥性肺炎
（生活歴）性格は明るく話し好き 何事に対しても我慢強い 演歌が好き 寂しがり
男性職員が大好き 人懐っこい性格 ご主人が気に入り眠れない 夜更し好き

・取り組み

- ①睡眠状況の確認（23日間実施）
- ②良眠できる環境作り（27日間実施）臥床前に足浴を行いました。
- ③臥床時にオルゴールのCDを聞いていただき寝て頂く（12日間実施）
- ④α波が出やすくなるCDを聞いて頂く
- ⑤居室内に星を散りばめた夜空を作り寝て頂く

【結果】

- ①睡眠導入剤服用のみ期間（5月23日～6月14日）
日付が変わってから臥床されるもすぐに起きられることが多くありました。
- ②足浴実施期間（6月15日～7月11日）
足浴開始前と比較すると、就寝時間に関して少し長くなられている様子です。
- ③オルゴールCD実施期間（7月12日～7月23日）
足浴時に比べるとベッドに臥床されてもすぐに起きられることはなく、暫くオルゴールCDを聞きながら入眠されていました。車椅子上での傾眠状態は減りました。
- ④⑤に関してはご本人が入院されたことにより取り組みを実施出来ませんでした。

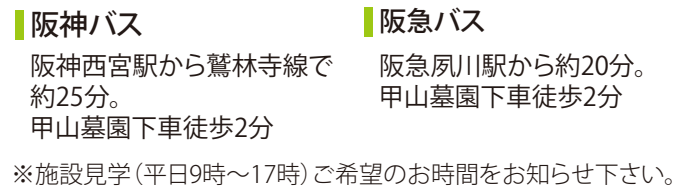
【考察とまとめ】

今回はオルゴールCDの段階で対象者の方が転倒骨折により入院され、予定していた取り組みを行えませんでした。3つの取り組みから就寝する際に心身をリラックス出来る環境を整備することで、「人生100年」時代である現在生きていくにあたり可能ならば避けたい「不眠」を少しでも解消し生活の質を向上する援助方法を確認出来ました。今後も薬などに頼ることなく生活を工夫することで良眠していただき利用者様の生活の質を向上できるよう取り組んでいきたいと思えます。



甲寿園だより
平成 30 年度年報
平成 30 年度事業報告
令和元年度事業計画

発行日 令和元年 8 月
発行 社会福祉法人甲山福祉センター
特別養護老人ホーム 甲寿園
〒 662-0001 西宮市甲山町 53
TEL 0798-71-8236
FAX 0798-73-7303
URL <https://kojyuen.jp>
Email kabuto.01@minos.ocn.ne.jp
発行責任者 園長 中野 由理
協力 株式会社 ビー・プランニング



TEL 0798-71-7496